

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

「寺田智輝さん 講演会」



12月6日に寺田智輝さんを招いて「知ることは愛のはじまり～みんな違ってそれがいい～」をテーマに講演会を開きました。寺田さんは、自身が性別違和であることを公表し、自分の思い通りの人生を生きるために女性から男性へと性別を変えました。その間、いじめや自分自身の生きづらさを抱えてきた経験から、本当の自分を見つけることや、人とのご縁を大切にすることの大切さを伝えられました。話では、学校や社会で受け入れられなかつ

た辛かった経験を周囲の人とのかかわりの中で乗り越えてきたことやつらい経験が今のためにあったこと、つらい経験をしたからこそ見えたものがある事を特に語られていました。

生徒の感想から「私は寺田さんの言葉で心に残っているのは、“楽しいことをするのも幸せだけど不安な事や困難な事を乗り越えた後も幸せだ”という言葉です。この言葉を聞いて不安や困難があったとしてもそれを乗り越えたら幸せなことがあるから、あきらめずに前に進んでがんばろうという気持ちを持とうと思いました」(2年生)

「寺田さんは強い意志で自分のやりたいことを実現してすごいと思います。また、寺田さんは私たちの発言を否定しませんでした。『でも、だって』など否定から入るより『OK!』『いいよ』みたいに明るく返事するのが大切だとわかりました」(2年生)

「もちつき大会」をしました



12月4日(月)に4年ぶりに伝統のもちつき大会を開きました。前々日からもち米の準備や臼・杵等々の道具一式の準備を枝光2区・3区の皆さんや本校PTAの皆さんにさせていただき当日を迎えました。当日も朝早くから多くの皆さんに手伝っていただき予定通り終えることができました。

1・2年生が餅をついたのですが、経験がある生徒は餅をこねるところから腰が入って上手にこねてつくことができました。皆さんの協力で1・2年生全員が杵をもって餅をつくことができました。このもちつきは、これから進路選択に向かう3年生への激励の意味が込められています。3年生へはパックに「3年生がんばってください」と餅に込めたメッセージを入れて渡しました。

お礼

今回のもちつき大会につきましては4年ぶりの開催ということで、6月と10月に準備の会議をしました。また、準備から多くの方の援助をいただきました。枝光2区・3区の育成会の皆さんをはじめもちつき大会に関わったすべての皆さんにお礼を申し上げます。

